

Luxman

HEADPHONE AMPLIFIER

P-200

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンのヘッドフォン・アンプリファイヤー P-200 をお求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこのオーナーズマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただくことで本機の性能が十分に発揮され最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただけることと思います。

なお、お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

目次

使用上の注意	1
各部の名称と用途	2
接続方法および接続図	4
ブロックダイアグラム	6
規格	7
アフターサービスと品質保証について	8
修理に出される前に	9

アンプの置き場所について

換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

入力機器接続時のご注意

本機とCDプレーヤーなどの入力機器を接続するときには、本機と入力機器の電源スイッチを必ず切っておいてください。電源が入ったまま接続すると、大きな雑音が発生することがあり、耳に傷害をおよぼす可能性があります。また、本機の入力端子に差し込むピンプラグはしっかりと差し込んでください。CDプレーヤーなどの入力機器の入出力端子に差し込むピンプラグも同様です。ピンプラグのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N比が悪化する原因になります。

併用機器との接続時の注意

本機にCD/DVDプレーヤー、チューナー、プリアンプなどの入力機器を接続するときには、本機をはじめ、すべての併用機器の電源スイッチを必ず切ってください。ヘッドフォンを破損するほどのノイズが発生したり、場合によっては故障の原因になることがあります。本機の各入力端子に差し込むピンプラグは、しっかりと差し込んでください。アース側が浮いているとハムなどのノイズが発生し、S/N比悪化の原因になります。

保護回路について

本機にはアンプやヘッドフォン保護のため、過電流検出、異常高温検出による保護回路を設けています。この保護回路が動作した場合、ヘッドフォン端子への出力を中絶し、本機がミュート状態に入ったことを表示します。保護回路が動作した原因が消滅するとパワー・インジケータが再び青色に点灯し、動作状態に復帰します。保護回路がたびたび動作するときは、弊社サービス・センターにご相談ください。

電源 ON 後すぐに音は出ません

本機には出力回路を切り離すためのタイム・ミュート回路が組み込まれているため、電源 ON 後すぐには音が出ません。(本機の場合、パワー・インジケータが青色に点滅して準備動作中であることを示します)一定時間経過するとパワー・インジケータが青色に点灯し動作状態になります。

このタイム・ミュート回路が解除されるまでに音量ボリュームが上がっていると、急に大きな音が出てくることになります。音量ボリュームは必ず小さく絞っておき、ヘッドフォンから音が出はじめてから適度なレベルにセットしてください。

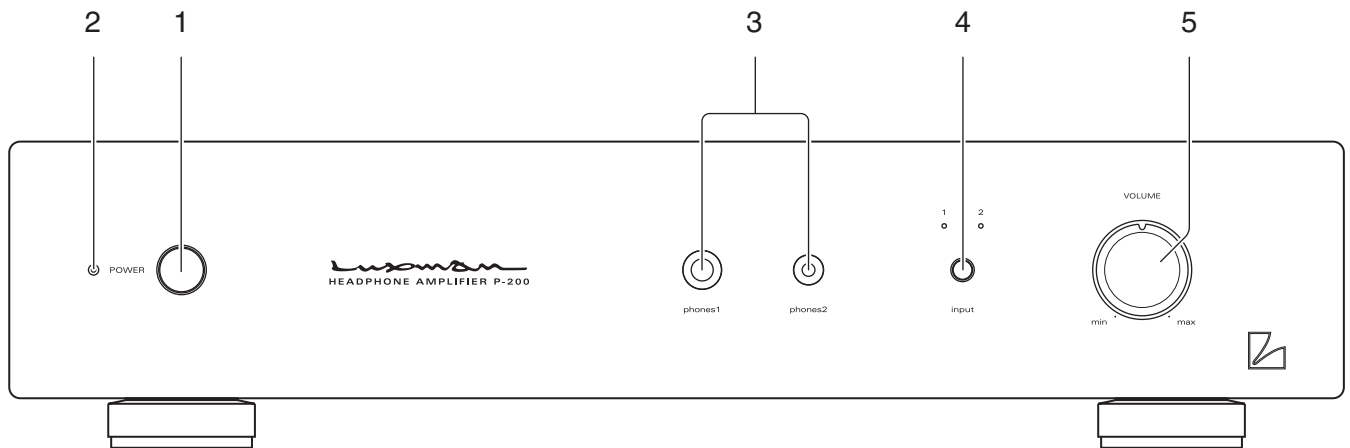
修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

各部の名称と用途



1. 電源スイッチ (power)

電源を ON/OFF するためのスイッチです。入出力端子の接続時には必ずこのスイッチを OFF にしてください。

: off
 : on

2. パワー・インジケータ

電源スイッチを ON した直後の一定時間は準備動作中で青色に点滅します。(この間は音が出ません)

タイム・ミュートが解除され動作状態になると青色に点灯します。また、ヘッドフォン出力に過電流と DC 電圧が発生した場合や、本機が異常高温になった場合、このインジケータが青色に点滅し、ミュート状態になったことを表示します。原因が取り除かれると再び青色に点灯し動作状態になります。たびたび、動作中にこのインジケータが青色に点滅する場合は、弊社サービス・センターにご相談ください。

3. ヘッドフォン・ジャック (phones1,phones2)

ヘッドフォン・プラグを差し込みます。2つのジャックは、同じ音楽信号を出力します。

なお、phones1 は標準タイプのヘッドフォン・プラグを、phones2 はミニタイプのヘッドフォン・プラグを接続するのに適しています。

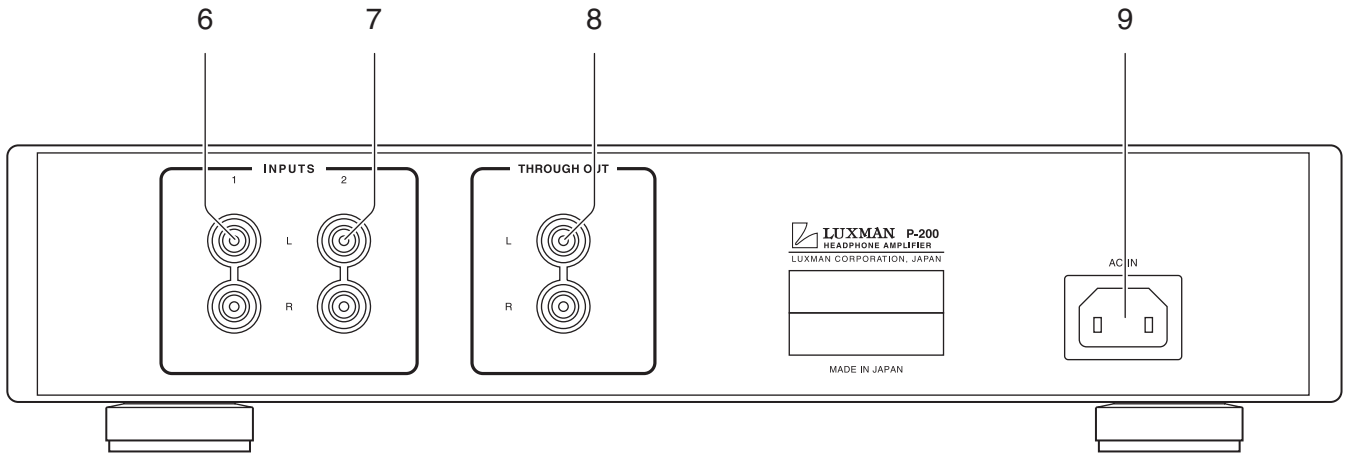
4. 入力セレクター・スイッチ (input)

入力の切換スイッチです。再生したい入力システムを選択してください。

: 入力端子 1 が選択され (1) の LED が点灯します。
 : 入力端子 2 が選択され (2) の LED が点灯します。

5. ボリューム・コントロール (VOLUME)

音量を調節するためのつまみです。左へ回し切った位置では音が出ず、右に回してゆくと音量は徐々に大きくなっていきます。



6. 入力端子 1 (INPUT 1)

CD プレーヤーなどの入力機器からの出力をこの端子に接続してください。

7. 入力端子 2 (INPUT 2)

入力機器を 2 台以上使用する場合は、入力機器からの出力を、この端子に接続してください。
この端子への入力を選択する場合は、入力セレクター・スイッチの INPUT 2 を選択してください。
入力セレクター・スイッチにより INPUT 1 と 2 の選択が可能です。

8. 出力端子 (THROUGH OUT)

本機のスルー出力端子で、コントロールアンプやプリメインアンプのライン入力端子に RCA ピンケーブルを使用し接続します。

例えば CD プレーヤーなどの出力を本機以外にも同時に入力したい場合に、この出力を使用してください。
なお、この端子からは、入力セレクター・スイッチで選択された入力系統が出力されます。

フォノ (PHONO) 入力端子に接続するとアンプを破損する恐れがあります。必ずライン入力端子に接続してください。

9. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源は AC100V 家庭用コンセントをご使用ください。

接続方法および接続図

接続する前に

他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側（穴が2つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源スイッチと併用機器の電源をすべて OFF にしてください。

電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。

電源極性の合わせ方

一般家庭用の2極の電源コンセントは一方がアース、もう一方が交流 100V となっており、電源ケーブルのプラグを正しい向きに差し込んでいただくことで、電源の極性が全ての機器で一致し、より高音質な音楽再生をお楽しみいただくことができます。本機に付属の電源コードでは、プラグ部に刻印されている文字が正しく読める向きに見たとき、右側の端子がアース側となります。部屋のコンセントのアース側が区別されているとき（差し込み穴が広がっています）は、プラグのアース側がコンセントのアース側になるように差し込んでください。

※コンセントのアース側が区別されていないときなど、どちらの向きに電源プラグを差し込んでも本機の基本性能には影響ありません。

入力機器の接続

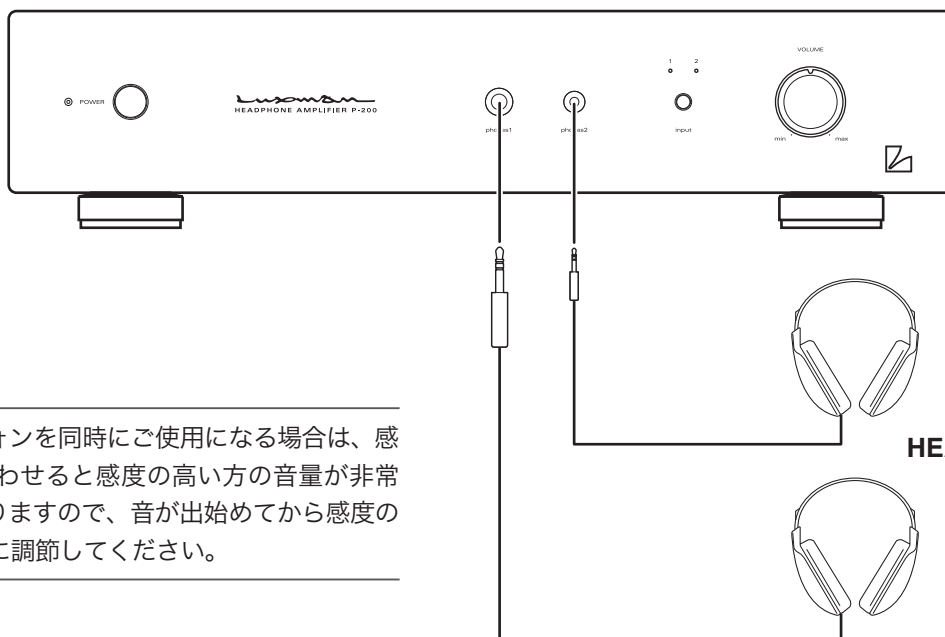
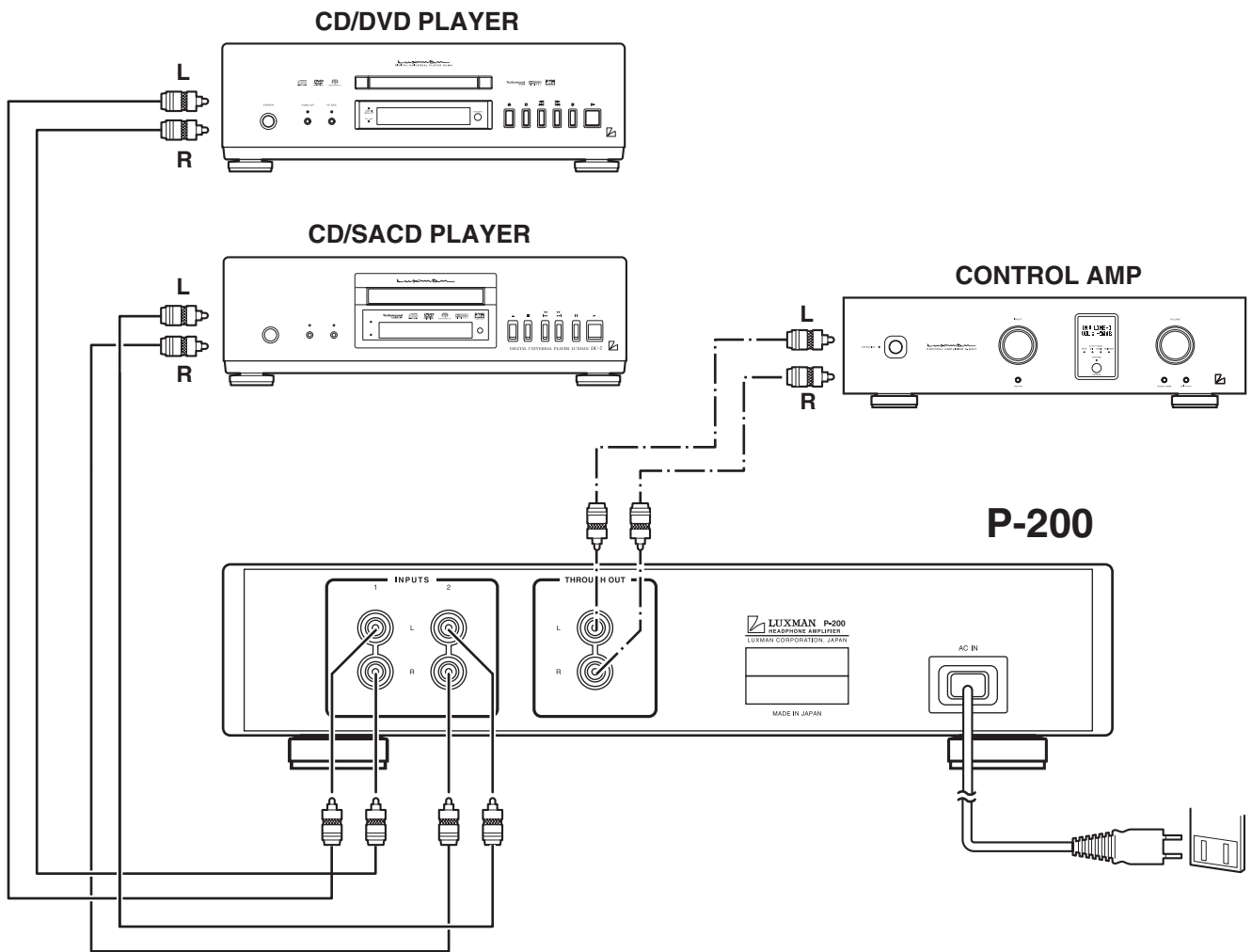
CD プレーヤー、コントロールアンプなどの入力機器の出力端子もしくは、コントロールアンプの録音出力 (REC OUT) 端子と本機の入力端子を接続します。入力機器の出力を RCA ピンケーブルで取り出し、本機の入力端子に接続します。このとき、入力セレクター・スイッチは、接続した入力または、お聞きになりたい入力にセットします。

ヘッドフォンの接続

ヘッドフォン・ジャックにお手持ちのヘッドフォンのプラグを差し込みます。ジャックは2ヶ所ありますが、どちらも同じ音楽信号を出力していますので、ご使用になるヘッドフォンの端子タイプに合わせて、いずれかのジャックに差し込んでください。

ヘッドフォンの適合インピーダンスは、16 Ω から 600 Ω です。この範囲のヘッドフォンなら同時に2本まで使用可能です。

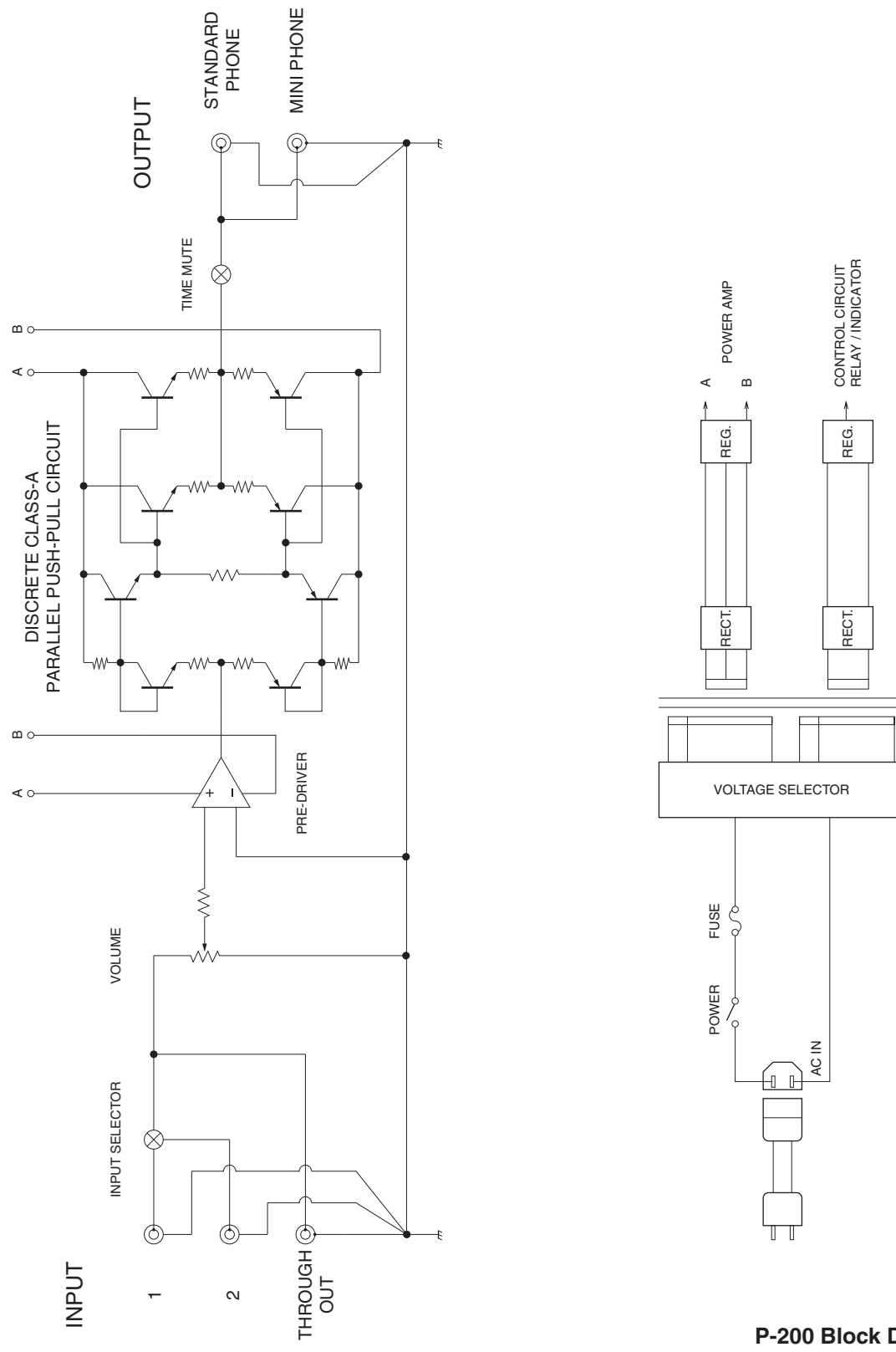
本機は高出力なので、音量には十分気をつけてください。おもわぬトラブルを防止するため、電源の ON/OFF 時、ヘッドフォン・プラグの抜き差し時には、必ず音量ボリュームを左に絞って入れてください。



感度の異なるヘッドフォンを同時にご使用になる場合は、感度の低い方に音量を合わせると感度の高い方の音量が非常に大きくなる場合がありますので、音が出始めてから感度の高い方で好みの音量に調節してください。

HEADPHONE

ブロックダイアグラム



P-200 Block Diagram

連続実行出力	2W + 2W (8Ω), 1W + 1W (16Ω), 500mW + 500mW (32Ω)	
入力感度・インピーダンス	1.0V / 47kΩ	
全高調波歪	0.015% 以下 (1kHz)	
周波数特性	10 ~ 100kHz (+0, -3dB)	
S/N 比 (IHF-A)	100dB 以上	
付属機能	[フロントパネル] ・電源スイッチ ・音量ボリューム ・出力端子 2 (ミニプラグ用) [リアパネル] ・入力端子 (2 系統) ・AC インレット ・入力切替スイッチ (2 系統) ・出力端子 1 (標準プラグ用) ・スルー出力端子 (1 系統)	
付属品	・電源ケーブル ・取扱説明書 ・安全上のご注意 ・保証登録書	
電源電圧	AC 100V (50/60Hz)	
消費電力	16 W (電気用品安全法による規定)	
外形寸法	364 (W) × 84 (H) × 257 (D) mm (端子 / ノブを含まず)	
重量	4.4kg (本体)	

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービスセンターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

ラックスマン製品の保証期間は購入日より起算して2年間です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機のパッキングケース内に入っていますので、お買い上げの販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

LUXMAN

ラックスマン株式会社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-3-1
tel. 045-470-6991 fax. 045-470-6997 www.luxman.co.jp



ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費等を戴くことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源スイッチを押しても電源が入らない。	・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差込まれていない。	・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。
	・電源プラグが AC インレットから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグを AC インレットへ確実に差し込む。
音が出ない。	・ボリューム・コントロールが最小音量の位置になっている。	・ボリューム・コントロールを右に回して音量を調節する。
	・接続が確実に行われていない。	・接続を確実に行う。
	・コントロールアンプなどの入力機器のボリューム・コントロールが絞り切られている。	・コントロールアンプなどの入力機器のボリューム・コントロールを調節する。
	・コントロールアンプなどの入力機器の REC OUT 出力が OFF になっている。	・REC OUT 出力を ON にする。
片側だけ音が出ない	・入力機器のバランス・ボリュームが左右どちらかに片寄っている。	・バランス・ボリュームをセンターもしくはお好みのバランスに調節する。
	・接続ケーブルの片側だけが接続されている。	・正しく接続する。
ハム音（ブーン、またはジーというノイズ）が出る。	・ピンケーブルのアース側が端子に接触していない。	・ピンケーブルのアース側が接触するように確実に接続する。
	・他機器の電源トランスから誘導ノイズを受けている。	・他機器から本機を離して設置する。
	・ヘッドフォン・ケーブルと電源ケーブルが接近しすぎている。	・ヘッドフォン・ケーブルと電源ケーブルを離す。

